

令和2年度 工業会事業計画 案

I. 基本方針

令和2年度は、年初からの新型コロナウイルスに端を発した国際経済面での混乱が、いつ収束するののかの見通しが立っていない不透明感によるリスクが増大している。

我が国の経済は、昨年度から、雇用・所得環境の改善による緩やかな回復継続が期待されていたが、国際情勢と同様、新型コロナウイルス蔓延による経済活動にどのような影響がどの程度あるのか、現状では不明である。

成形業界を取り巻く環境は、原材料高、人材育成、採用難、物流費や人件費の上昇、廃プラ費用などのコストアップ要因だけでなく、自動車産業等の停滞が大きナリスクである。

また、新型コロナウイルスに関する政府の施策、働き方改革、外国人材受け入れなど、今までとは異なる環境変化の中で“ものづくり”を継続するには、経営者同士の情報交換や連携による経営力強化が必要であり、そのための勉強会や研究会を開催し、周知・交流を行ってゆく。

関係研究機関はじめ協力企業、全日本プラスチック製品工業連合会や傘下の3工業協会と連携して、基本方針に沿った事業を実施して業界の発展に努力する。

重点項目

運営指針 **経営者の勉強会を中心に活動**
技術力を高め・知恵と協力で激動の年を乗り切る
後継者の育成

1. 経営者の勉強会(研修会)、先を見る目を養う、後継者の育成、国内研修、海外研修
2. AI や IoT 事業の情報収集と勉強会
3. 技術で生きる、『得意技術』を育てるため、研究機関や成形機械・材料・周辺機器メーカー及び、『会員企業間の連携』を積極的に取り組み実施する
4. 学べる場、研修会、工場見学会等を実施する
 - ・生産システムの技術研修会を実施し、会員企業のシステム構築に役立てる
 - ・高精度、高付加価値製品の技術研修会を開催し、開発力を向上させる
 - ・KPMフォーラム[県立産業技術総合研究所協賛]の開催
5. 技能者・技能士会育成支援、技能検定試験への積極的な応援
6. ホームページ・ネットワークの有効活用と広報活動の推進
7. 会員名簿の更新継続
8. 事業の継承や技術相談のフォロー体制を整える
9. 人材獲得と育成に関する事業の実施
10. 東日本、中部日本、西日本の各協会と連携を深め、情報の共有化と事業の効率化を図る
関係団体や関係諸官庁との連携・協調による事業の展開
11. その他必要な事業(求人、求職者の紹介等)

II. 実施方法

会議の開催、委員会活動及び事業

1. 会議の開催

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 総会 | 1 回以上(通常総会及び臨時総会) |
| (2) 総務委員会(企画委員会) | 随時 |
| (3) 理事会 | 3 回以上(定例理事会及び臨時理事会) |

2. 会長直轄部会

(1) 総務委員会(随時)

事業計画案と予算案の策定、予算管理、決算、会長諮問事項の検討、会員増強、50 周年記念事業、他協会との連携運営の研究、不況対策、各種保険、関係諸団体・関係諸官庁との協調事業と情報交換、その他工業会運営についての企画立案

(2) 経営者勉強会(随時)

既成概念にとらわれず、身近な事から将来のプラスチック成形業の生き方を探る

(3) 支部長会・正副会長会(3 回)

会員増強の推進、支部間の情報交換と支部活動の活性化による組織の強化

(4) 環境管理委員会(随時)

海洋プラスチック問題・廃プラ処理・ISO 環境関連法規・条例等の研究会の実施
健康保険組合との共同事業の検討。

3. 運営部会

(1) 経営労務改善委員会

経営改善、労働福祉、人材確保、能力開発等の講演会・研修会を開催する

- ・ 市場動向と実態の把握
- ・ 労働法規等の研修会開催及び関連情報を流す
- ・ 会員間の求職求人情報及び紹介

(2) 情報委員会

広報誌「プラスチック神奈川」・原稿の作成、編集と発行、「プラスチック神奈川」による工業会事業の広報活動、ホームページ利用の促進、Eメールによる情報発信

4. 技術部会

技術協会の事業計画と重複するため、神奈川県プラスチック技術協会通常総会議案書の事業計画(案)「II. 実施方法」に記載

5. 関係団体及び関係官庁との協調事業

本会の各事業を有効的に、かつ円滑に推進するため、全日本プラスチック製品工業連合会と各地区協会や異業種連携協議会をはじめ、神奈川県、横浜市、行政関係機関及び神奈川県プラスチック事業健康保険組合、各地区商工会議所など関係諸団体との連携により事業展開を図る